


**新時代ヘルスケア推進事業
パブリックコメント資料**

令和5年8月作成：延岡市 健康福祉部 健康長寿課

1-1. 市民から見た、事業がめざしていく流れ

取り組み：イベント等を開催し、幅広い参加者を呼び込む。

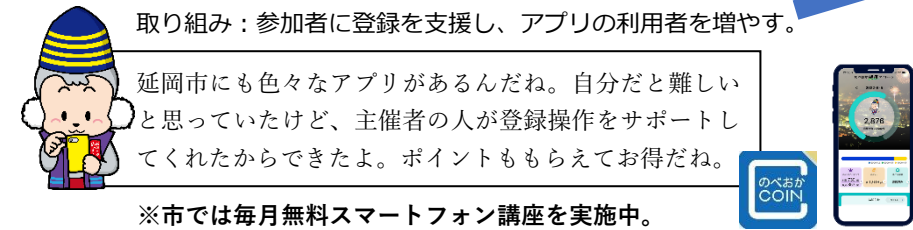
最近、色々なイベントの告知があるね。健康などは興味がないけど、ちょうど趣味に合うものだし、地域の人でなくても参加できるみたいだから、行ってみようかな。



取り組み：参加者に登録を支援し、アプリの利用者を増やす。

延岡市にも色々なアプリがあるんだね。自分だと難しいと思っていたけど、主催者の人が登録操作をサポートしてくれたからできたよ。ポイントももらえてお得だね。

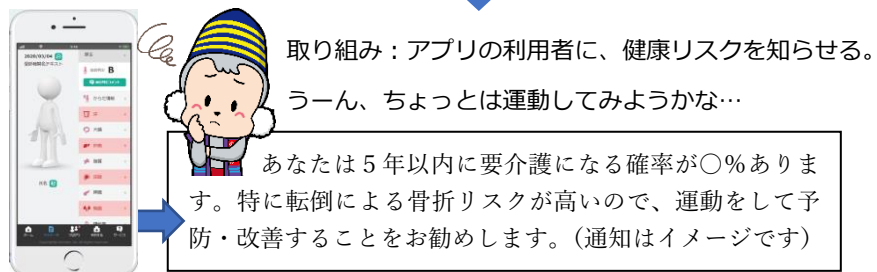
※市では毎月無料スマートフォン講座を実施中。



取り組み：アプリの利用者に、健康リスクを知らせる。


うーん、ちょっとは運動してみようかな…

あなたは5年以内に要介護になる確率が〇%あります。特に転倒による骨折リスクが高いため、運動をして予防・改善することをお勧めします。(通知はイメージです)



課題解決①：重症化する人や要介護になる人を減らし、健康寿命の延伸を図る。


運動をするようになって、健康になった気がするよ。まだまだ元気に長生きできそうな感じがするし、歩いたらポイントがもらえるし、良いことばかりだね。



取り組み：ポイントを動機として、継続的な社会参加を後押しする。


あ、近くのコミュニティセンターでもイベントがあるんだね。ポイントももらえるし、また行ってみようかな。

※市では毎月無料スマートフォン講座を実施中。



課題解決②：社会参加を増やして地域コミュニティを活性化させ、高齢者などの外出機会を増やす。



(主催者)たくさん参加があって、やり甲斐があるよ。次も開催してみようって気持ちになるよね。今度は近所の人も誘って。っお願いしてみよう。



取り組み：ポイントを利用することで、積極的に参加することのメリットを実感する。


たくさん参加して、歩いていたら、だいぶポイントが貯まってきたね…。どこのお店で使おうかな。どうせなら、いつもと違うところが良いな。

美味しい！こういう楽しみがあると、続けようって気になるね。

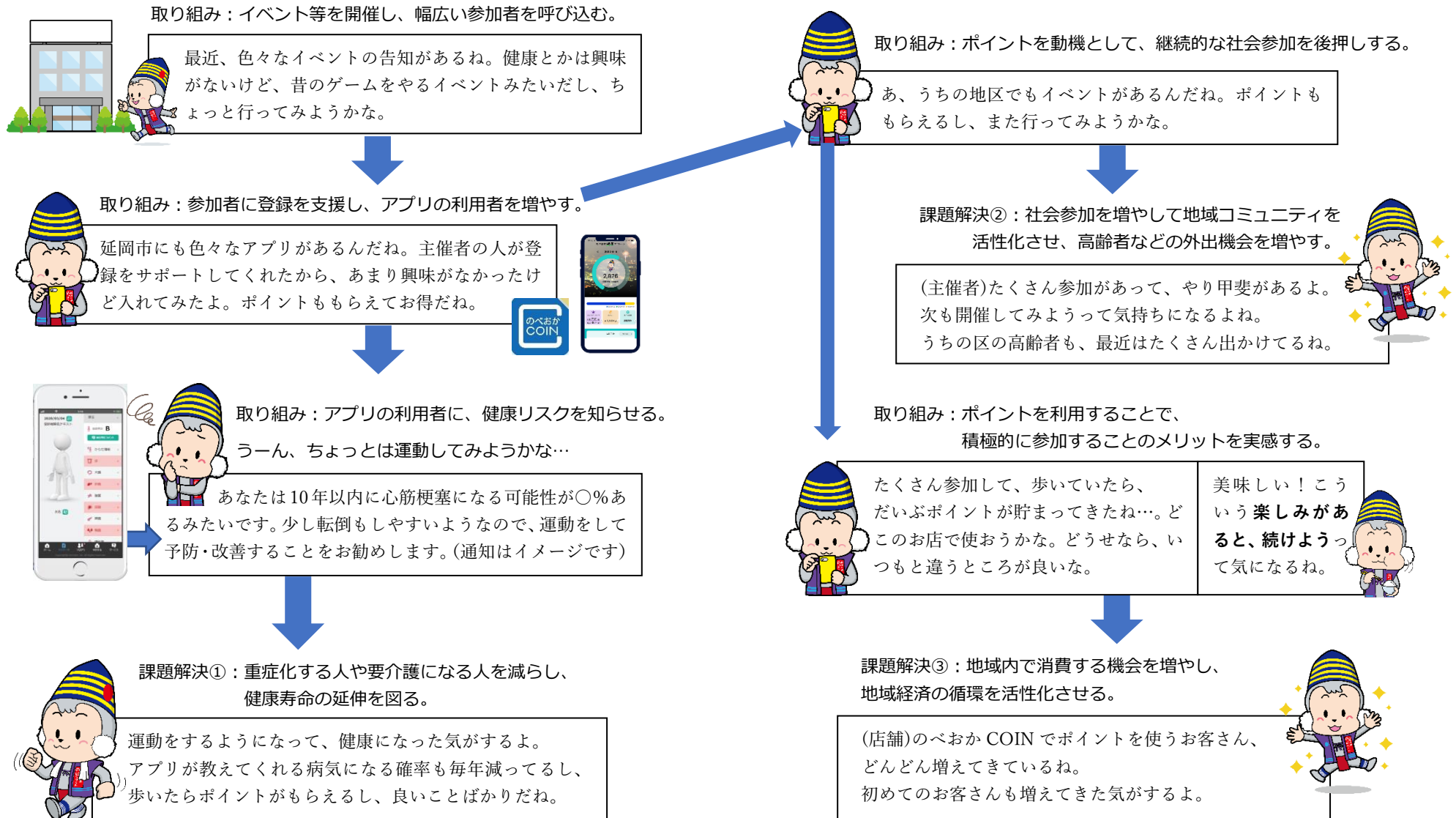



課題解決③：地域内で消費する機会を増やし、地域経済の循環を活性化させる。

(店舗)のベおか COIN でポイントを使うお客さん、どんどん増えてきているね。初めてのお客さんも増えてきた気がするよ。



1-2. 市民の目線(主に現役世代)から見た、事業がめざしていく流れ



新時代ヘルスケア推進事業の概要

2. 内閣府に交付申請した事業の名称

市民の行動変容を促す新時代ヘルスケア推進事業

3. 事業の計画期間

令和5年度(2023)～令和7年度(2025)の3か年

4. 事業費の概算

令和5年度	令和6年度	令和7年度	総事業費
68,300 千円	129,000 千円	114,000 千円	311,300 千円

※事業費は、事業の進捗や計画の修正などにより、上記の事業費を上限として変更があり得ます。
※年度ごとに国への申請・交付決定が行われるため、次年度以降の各年度の事業費は毎年度国と協議することになりますが、事業としては3年間の事業として採択されました。

5. 事業費の財源の内訳

(1) デジタル田園都市国家構想交付金 : 155,650 千円 (総事業費の 1/2)

(2) 地方(延岡市)負担分 (※普通交付税および特別交付税措置) : 155,650 千円

※ 事業費の 45%は地方交付税が交付されるため、市の最終的な負担は事業費の 5% (15,565 千円) となる見込みです。

6. 事業の目的

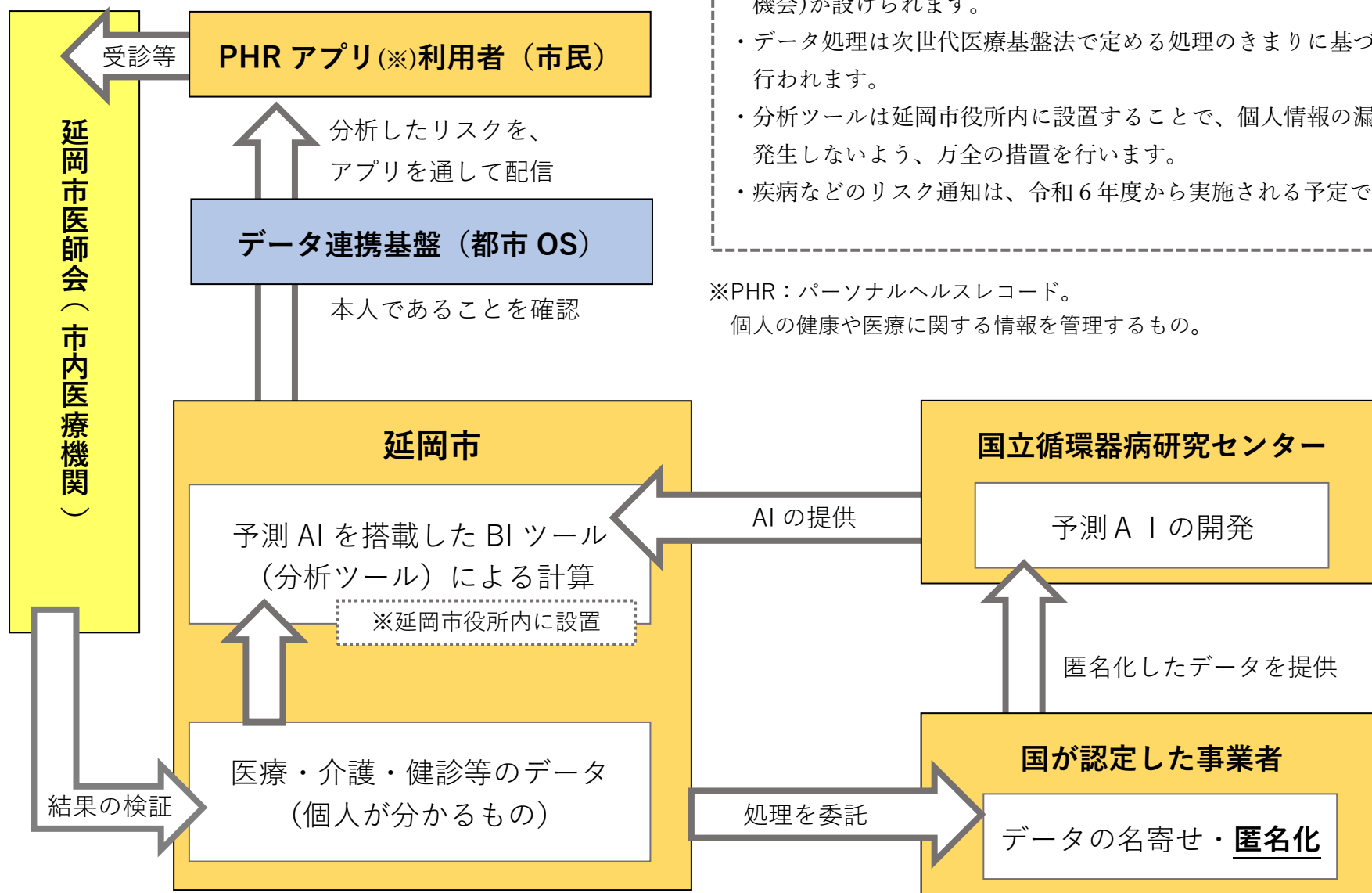
健康・医療	健康無関心層・低関心層も巻き込んで、高齢化社会への積極的な予防策を構築していくことで、重症化・要介護になる市民の減少をめざします。
地域コミュニティ・ 地域経済	社会参加や健康づくり活動の増加を通して地域コミュニティを活性化させ、地域内の消費活動の活発化による地域経済の活性化をめざします。
人口減少の抑制	健康寿命の延伸や社会参加の促進など、市民のウェルビーイングを高めることで、住み続けたいまちであると考えてもらい、人口減少の抑制をめざします。

7. 事業の主な内容

番号	概略	事業内容の説明
1	社会参加のきっかけ作り アプリの利用者増加	健康づくりやそれ以外の小規模なイベント等を、委託して市内の各地で開催します。参加者にはアプリの登録を支援することで、アプリの利用者を増やします。
2	医療・介護リスクの可視化	延岡市が保有するデータを活用して、個人ごとの、循環器等の疾病や転倒などの介護リスクが分かるようになる予測AIアルゴリズムを開発して、分析を行います。
3	リスク通知による予防の動機付け・行動変容の働きかけ	判定されたリスクは、PHRアプリ(P11参照)を通して、本人に通知します。その他、情報発信を行うことにより、予防や健康を意識する市民を増やしていきます。
4	インセンティブの提供(※)	イベント等の参加者にはポイントを付与することで、参加する動機付けを行い、また参加者が増えることで、主催者のモチベーションを高めます。
5	(結果) 地域コミュニティ・ 地域経済の活性化・人口減少 の抑制	ポイントはのべおか COIN で利用できるようにします。高齢者等の外出機会を増やし、地域コミュニティが活性化することや、消費の機会が増えることで地域経済が活性化することをねらいます。そして、人口減少の抑制をめざします。

※ 個人へのインセンティブは交付金の対象外のため、発生する費用は市の負担になります。

8. 医療・介護等のデータが処理される構図



- ・データの使用については、オプトアウト(データの使用を拒否する機会)が設けられます。
- ・データ処理は次世代医療基盤法で定める処理のきまりに基づいて行われます。
- ・分析ツールは延岡市役所内に設置することで、個人情報の漏洩が発生しないよう、万全の措置を行います。
- ・疾病などのリスク通知は、令和6年度から実施される予定です。

※PHR：パーソナルヘルスレコード。
個人の健康や医療に関する情報を管理するもの。

9. 年度ごとの事業の進捗のイメージ

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予定 経費	68,300 千円	129,000 千円	114,000 千円
主な 内容	<p>(1)社会参加の活性化、アプリ利用者の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模のイベント等を各地で実施。同時に、参加者にアプリの登録支援を行う。 ・アプリやイベントの広報活動を行い、また臨時的登録支援窓口を設置する。 ・のべおか健康マイレージアプリの機能強化・他アプリ等を連携するための調査等 <p>(2)健康リスクの把握・行動変容の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代医療基盤法に基づいてプライバシーに問題のない形でのライフコースデータ構築・AI予測機能構築に向けた調査 ・特定の疾病を発症するリスクや要介護リスクの高い人など、個人のライフコースに合った健康リスクの可視化システムについての調査 ・個人の健康状態を分析・把握するための分析ツール(BIツール)を導入する。 	<p>(1)社会参加の活性化、アプリ利用者の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模のイベント等を各地で実施。同時に、参加者にアプリの登録支援を行う。 ・アプリやイベントの広報活動を行い、また臨時的登録支援窓口を設置する。 <p>(2)健康リスクの把握・行動変容の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの利用に関してオプトアウト(データ利用を拒否する機会)を実施する。 ・ライフコースデータの整備を行い、AI予測機能を開発して分析ツールに一部導入する。 ・データ連携基盤を改修し、分析ツールおよびPHRアプリとの連携を行う。 ・分析によって得られた疾病や介護のリスクについて、PHRアプリで通知を実施する。 	<p>(1)社会参加の活性化、利用者へのアプローチによる健康的な行動変容の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施やアプリ登録が少ない地域を中心に、支援の取組みを展開する。 ・アプリを通して積極的な情報発信を行い、行動変容や社会参加を促す。 ・2年目で得られたデータを基に、事業効果を検証し、取組方法を軌道修正する。 ・検証結果に応じて、のべおか健康マイレージアプリ等の機能強化を行う。 <p>(2)健康リスクの把握・行動変容の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データを更新してリスク判定を行い、昨年度との比較を可能とする。 ・2年目で導入できなかったAI予測機能について、追加の導入を行う。 ・2年目の効果検証を通して、必要に応じて分析ツールの改修を行う。

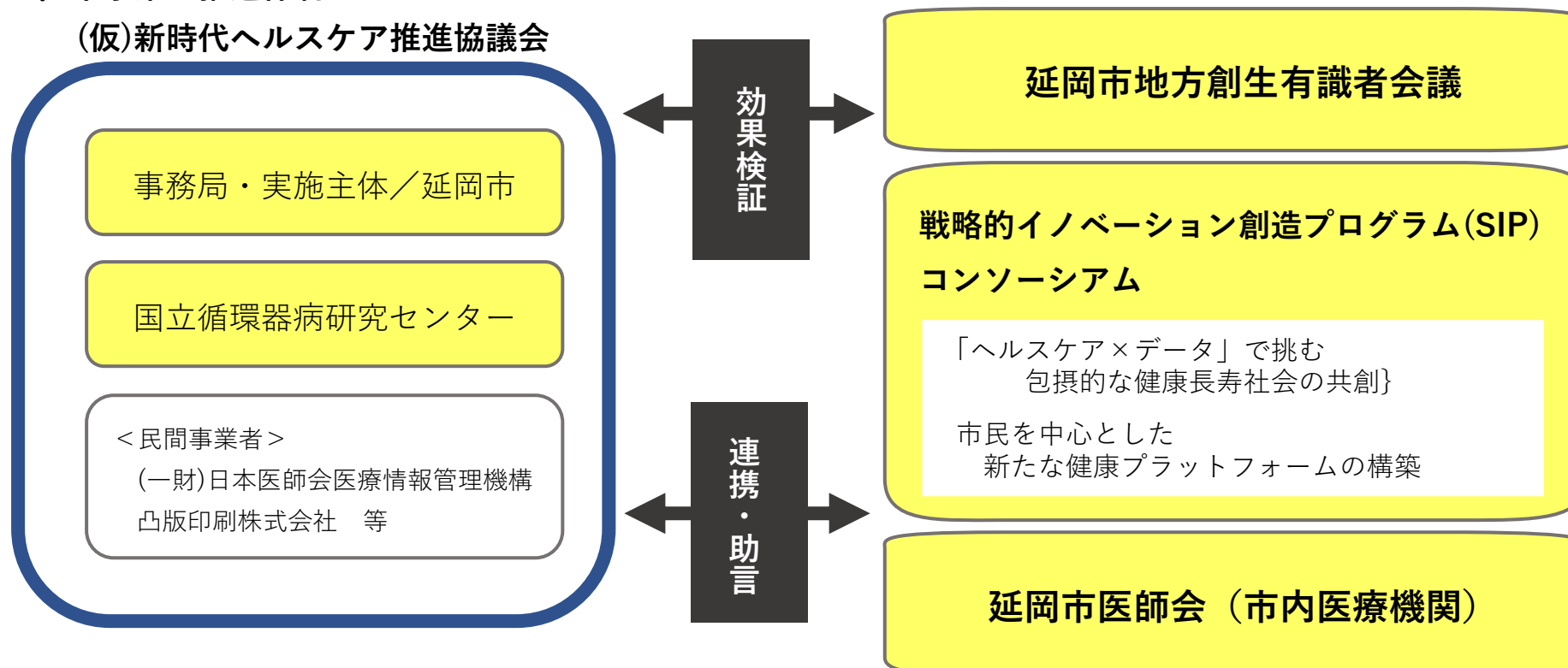
10. 本事業の目標値（KPI）

目標1	市民の満足度を高め、転出（社会減）による人口減少を抑制します。			
年度	令和4年度(基準)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
基準／目標値	614人の減少	20人の人口減少を抑制	20人の人口減少を抑制	20人の人口減少を抑制
目標2	イベント参加・公民館等の利用者数を増加させ、地域コミュニティを活性化させます。			
年度	令和4年度(基準)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
基準／目標値	53,360名	56,028名	58,696名	61,364名
目標3	利用者の増加・活性化により、のべおか健康マイレージアプリの付与ポイント数を増加させます。			
年度	令和4年度(基準)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
基準／目標値	7,044,365ポイント	9,044,365ポイント	12,044,365ポイント	16,044,365ポイント
目標4	健康で活発な高齢者が増えることにより、要介護認定率（年齢調整後）を減少させます。			
年度	令和3年度(基準)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
基準／目標値	16.0%(※)	15.7%	15.4%	15.1%

※令和4年度の数値は厚生労働省が集計中(例年9月頃公表)のため、令和3年度の実績値を記載しています。

1 1. 本事業の推進体制

(仮)新時代ヘルスケア推進協議会



<事業の推進体制について>

- (1) 市健康長寿課を事務局として協議会を設立し、延岡市が連携協定を締結している
国立循環器病研究センターなどと連携を図ることで、事業の円滑な実施に努めます。
- (2) 延岡市地方創生有識者会議において効果検証を行い、事業の見直しを図ります。
- (3) 延岡市医師会とも連携し、適切な治療を促すことで、重症化の予防につなげていきます。
- (4) 国立循環器病研究センターが実施を予定している「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」の実施事業と緊密に連携して連動することを予定しており、研究機関や専門家の最新の知見を得ながら助言を参考として事業の修正を図る予定としております。

12. 用語の解説

用語	内容
ウェルビーイング	個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。(厚生労働省資料より)
ライフコースデータ	幼少期の母子健診、学校での健診、成人してからの健康診断や病院の受診記録、介護情報など、データはあっても個別に管理されていた個人の情報を一つにまとめたデータのこと。本事業では医療・介護・健診データの統合を想定しています。
PHR	Personal Health Record の頭文字をとった略語で、個人の健康・医療・介護に関する情報のことを指しており、個人の健康・医療・介護に関する情報を自分自身で生涯にわたって管理・活用することによって、自己の健康状態に合ったサービスの提供を受けることができることを目指すもの(経済産業省資料より)
BIツール	Business Intelligence : ビジネスインテリジェンスツールの略称。ビッグデータを集約・分析するために用いられます。本事業では、医療・介護・健診データを分析し、個人の疾病や介護等のリスクを判定することなどを用途として想定しています。
オプトアウト	研究対象者等に一定の事項を通知し、又は研究対象者等が容易に知り得る状態におき、かつ、研究対象者等が研究の実施等を拒否できる機会を保障する方法。(文部科学省 HP より) 本事業では、医療・介護・健診などのデータの対象者に行われる予定です。
データ連携基盤	延岡市などが所有する様々なデータを、組織横断的にやり取りすることで、データを有効活用することを目的としたシステムのことになります。延岡市では、デジタル庁の交付金「データ連携基盤と次世代モビリティを活用した”救急”as a Service 事業」を用いて令和4年度に整備されています。